

塾長のプロフィール

小川 力也（おがわ りきや）



【現在】

科学教室力塾 塾長
大阪産業大学 非常勤講師（担当：キャリア教育）
大阪府立富田林高等学校 非常勤講師（担当：探究）
大阪府立富田林高等学校科学部 外部指導員

【職歴】

大阪府立富田林中学校高等学校の元指導教諭（2018年まで）。府立中高校33年間勤務（理科・生物）。富田林中高校の「文部科学大臣賞」「環境大臣賞」「大阪府知事賞」などの受賞へ導く。富田林中学校創立のプロジェクトリーダー、「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」指定や「地域フォーラム」など地域連携に向けての取組推進。

【研究歴・社会活動】

長年、国の天然記念物イタセンパラ（淡水魚）の生態研究、その保護や生息環境保全に取り組む。
淀川流域委員会委員（国交省）、国内希少野生動植物種保護推進員（環境省）ほか。
著書は「名まえしらべ 川や池の魚」（保育社）、「淡水魚研究入門」（東海大学出版部）、「絶体絶命の淡水魚イタセンパラ」（東海大学出版会）ほか。

【主な指導実績】

<2014～2017, 2019～2021年, 2023年>日本学生科学賞全国大会出場、<2015年>全国野生生物保護実績発表大会「環境大臣賞」（全国1位）、<2016年>日本魚類学会「優秀賞」、日本水大賞「未来開拓賞」、<2017年>大阪府学生科学賞「大阪府知事賞」（府1位）、日本学生科学賞「入選1等」、<2018年>全国野生生物保護実績発表大会「文部科学大臣賞」、大阪サイエンスデイ「最優秀賞」（府1位）、<2019年>奈良県学生科学賞「奈良県知事賞」（県1位）、<2020年>日本生態学会高校生ポスター「優秀賞」、サイエンスキャッスル関西大会「最優秀賞」、大阪サイエンスデイ「最優秀賞」、<2021年>サイエンスキャッスル関西大会「最優秀賞」、<2022年>日本生物物理学会「最優秀発表賞」、サイエンスキャッスル関西大会「最優秀賞」、<2023年>日本魚類学会「優秀賞」、日本生物物理学会「最優秀発表賞」、大阪府学生科学賞「大阪市長賞」（府2位）、<2024年>日本動物学会近畿支部高校生研究発表会「優秀賞」

【主な進学実績（力塾）】

<2019年>大阪大学、大阪市立大学ほか、<2020年>大阪大学、大阪市立大学ほか、<2023年>大阪大学、神戸大学、九州大学ほか、<2024年>大阪大学、神戸大学ほか、<2025年>大阪大学、大阪公立大学ほか、

【塾長からのメッセージ】

今、教育が大きく変わっています。2021年度には「大学入学共通テスト」がスタートし、2022年度には大学入試における「総合型・学校推薦型選抜入試」の募集人数が従来型の「一般選抜」を超えるました。小中高校の教育のなかで、**自ら意欲的に学ぶ態度（主体性）、実体験、課題を見つけ解決する力（課題発見解決力）、論理的に考え方表現する力（論理的思考表現力）、多様な人々と協働する力（コミュニケーション力）**などが重視されるようになりました。弊塾では、探究的な学習を深めることによって、これらの学力を育み、大学進学の多様化のなかで志望大学への進学をサポートします。主体的に学ぶ楽しさに気づかせ、対話的にイキイキと学ぶことによって、子ども達の可能性をできるだけ引き出したいと考えています。